

## 今後の取組の進め方（案）

### 【今後の取組】

#### ○公共交通機関のバリアフリー化設備の「使い易い事例」・「使いにくい事例」の収集等

移動等円滑化実績報告等では把握しきれない公共交通機関のバリアフリー化設備の利用上の実態を把握するため、障害者等の当事者の協力の下、「使い易い事例」・「使いにくい事例」を収集・整理し、現状のバリアフリー基準やガイドラインの問題点等を洗い出すとともに、それらを公表することにより、バリアフリー化設備の利便性の向上を図る。

「今後の取組の方向性」における位置付け

- （１）一体的・総合的なバリアフリー化の推進
  - ・バリアフリー基準及びガイドラインのスパイラルアップ

#### ○公共交通事業者等における職員の教育訓練等の実態把握等

バリアフリー法第 8 条第 5 項に位置付けのある公共交通事業者等における職員の教育訓練について、事業者の協力の下、「良い事例」を収集、周知する。その際、知的障害、発達障害、精神障害のある方への対応方法に関する状況等についても収集する。

「今後の取組の方向性」における位置付け

- （２）様々な障害特性に対応したバリアフリー化の推進
  - ・知的障害者・発達障害者・精神障害者に配慮したバリアフリー化の検討
- （５）バリアフリー化に係る教育・普及方策の強化
  - ・事業者等へのバリアフリー研修のあり方の検討

#### ○乗車拒否等の実態把握、課題分析、解決方策の検討等

障害者差別解消法が成立したことを受けて、今年度中に策定される予定である同法に基づく基本方針の策定状況を踏まえつつ、検討に着手する。

「今後の取組の方向性」における位置付け

- （４）当事者が主体となったスパイラルアップの推進
  - ・乗車拒否等の課題分析・解決方策の検討
- （５）バリアフリー化に係る教育・普及方策の強化
  - ・事業者等へのバリアフリー研修のあり方の検討
    - 公共交通事業者が提供すべきサービスに関するガイドラインの整備

## 【今年度の調査研究】

### ○一体的・連続的なバリアフリー化の波及効果とバリアフリー基本構想の作成促進方策に関する調査研究

一体的・連続的なバリアフリー化により高齢者・障害者等の社会参加が促進されることによって生じる各施設等の利用者数の増加や市町村の中心市街地の活性化等の波及効果について整理・検証するとともに、高齢者・障害者等の当事者の参画等による効果的なバリアフリー基本構想の作成促進方策を検討する。

「今後の取組の方向性」における位置付け

(1) 一体的・総合的なバリアフリー化の推進

・バリアフリー基本構想作成ガイドブック及びバリアフリープロモーター派遣等の見直し

### ○色覚障害者の安全性・利便性に関する調査研究

色覚障害者が施設を利用する際に障害となる設備について、障害当事者からのニーズの把握や施設設置管理者等へ状況の確認を行い、今後優先的に取り組む事項の検討を行うとともに、色覚障害者が施設等を安全かつ便利に利用するために必要とされる設備の整備方法について調査研究を行う。

「今後の取組の方向性」における位置付け

(2) 様々な障害特性に対応したバリアフリー化の推進

・弱視・色覚障害等に配慮したバリアフリー化の検討